

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成30年3月度 番組審議会概要

平成30年3月8日（木）

13時50分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁(欠席) 齋藤 照安 五十住和樹 海野洋平

— 議 題 —

番組名 「感動地球SP 大島優子ネパールに行きたい！
天空のヒマラヤと野生の楽園を巡る」

放送日時 平成30年3月4日（日）16時05分～17時20分
テレビ静岡発 フジテレビ系全国27局ネット番組

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

インドと中国に挟まれ、北部には世界最高峰エベレストを始めとする8,000m級の高峰を連ねるヒマラヤ山脈と、丘陵地帯をはさんだ南部には、肥沃で高温多湿な平原地域が広がるネパール共和国。幅広い標高差と同様に、多民族・多言語国家であり、宗教的な歴史的遺産が散在するほか、南部には世界有数の自然保護区が広がり、数多くの野生動物が生息している。大島優子は、都会の利便性とは無縁ともいえるこの国で、歴史に紡がれた人々の営みや、厳しい山岳にそびえる絶景、また大自然に育まれた野生の生命力に触れ、その魅力を紹介する。

— 審議概要 —

- ◎ネパールの歴史・暮らし・文化・自然など多彩な情報を知ることができてよかった。
- ◎首都カトマンズの街や人々の暮らしから、宗教やヒマラヤ、野生動物の営みに繋がる構成がとてもわかりやすかった。
- ◎墓を作らず川に焼いた遺体を流すヒンドゥー教の火葬に驚くと同時に、それを無言で見守る大島優子さんの表情に、死生観の違いを感じることができた。
- ◎番組でネパールの人々は人としてどう生きているのか、目に見えるものだけに頼ってしまう今の日本人が忘れかけている、信仰の大切さを思い返させてくれた。
- ◎佐々木蔵之介さんのナレーションが番組全体にいい雰囲気醸し出していた。また、大島さんの無邪気さとのギャップがコントラストをなしていた。
- ◎「ゾウに乗って、臆することなく3日間もサイを探す」前向さと、発見後に「彼らの日常にお邪魔している」と気配りする大島さんに好感が持てた。
- ◎インドサイのきれいな鎧（ヨロイ）を初めてみて感動した。
- ◎大島さんの世俗的な言葉遣いについて、「自身の天真爛漫さが伝わって良い」と「女優として活躍しているのだから、もっと言葉を選ぶべき」と意見が分かれた。
- ◎タイトルの通り大島さんが「ネパールに行きたい！」という気持ちを本当に持っていたのか、また、番組で誰に何を伝えたいのか、疑問を持った。
- ◎幻と言われるインドサイが番組の冒頭で紹介されていて、番組後半で探す際に期待感が薄まってしまった。
- ◎天気の悪い雨季の取材だったが、時期を配慮する必要があったのでは。

第2部 木村委員 「若者（大学生）とテレビ」アンケートに関して

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成30年4月12日（木）の予定です。